会議名	［第76回］令和7年度 第5回田原市地域公共交通会議
開催日時	令和8年3月30日（月）14:00～15:20
開催場所	田原市役所　第1委員会室（北庁舎3階）
出席者氏名 **（敬称略）**	**（委員）** ○田原市副市長 鈴木　亨**[会長]** ○田原市都市建設部長　河邉　俊和**[副会長][議長]** ○豊鉄バス株式会社代表取締役社長 【代理】 縄稚　泰三 ○豊鉄ミデイ株式会社取締役支配人 【代理】 鎌田　俊一 ○渥美交通株式会社代表取締役 鈴木　雅 ○公益社団法人愛知県バス協会専務理事　小林　裕之 ○愛知県タクシー協会豊橋支部長（豊鉄タクシー株式会社取締役社長）【代理】 岩原　誠 ○伊勢湾フェリー株式会社代表取締役社長　宮脇　幸次 ○田原市老人クラブ連合会長　長神　隆士 ○田原市地域コミュニティ連合会長　花井　隆 ○田原市商工会副会長　天野　英一郎 ○一般社団法人田原青年会議所理事長　河合　佑紀 ○国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官　原田　光一郎 ○愛知県都市・交通局交通対策課担当課長 【代理】森本　恭平 ○愛知県田原警察署交通課長　秋葉　有志 ○豊橋技術科学大学建築・都市システム学系准教授　松尾　幸二郎**[副会長]** ○一般社団法人渥美半島観光ビューロー事務次長　彦坂　真**[監事]** **（事務局）** □都市建設部街づくり推進課長　鳥居　伸光 □都市建設部街づくり推進課 公共交通係長　山本　貴士 □都市建設部街づくり推進課 公共交通係主事　樽谷　佳奈子 □福祉部高齢福祉課長　河合　まり子
欠席者氏名 **（敬称略）**	○豊橋鉄道株式会社代表取締役社長　岩ケ谷　光晴 ○田原市民生児童委員協議会主任児童委員 小川　恵子 ○豊橋鉄道労働組合中央執行委員長　松下　裕紀 ○愛知県東三河建設事務所維持管理課長　奥谷　敦史
報告事項	(1)豊鉄バス「伊良湖菜の花ガーデン」バス停での乗降者数について (2)ぐるりんミニバス「中山線」のデマンド運行実証実験の実績について (3)分科会について
協議事項	(1)令和8年度事業計画・収支予算（案）について (2)ぐるりんミニバス「中山線」のデマンド運行区域拡大について (3)公共ライドシェアの実証実験について (4)ぐるりんミニバス「中山線」のアンケートについて
会議の要旨	以下のとおり。
	［１　会長挨拶］
鈴木会長 （副市長）	皆さんこんにちは。本日は年度末の大変ご多用の中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。また、日頃より本市の公共交通に関しましてご尽力賜りありがとうございます。 さて、本市の当面の心配事といたしましては、渇水でございます。先日矢作川水系と天竜川水系から導水されるということが報道発表されました。また明日から雨も期待されるところでございますが、田植えのシーズンを迎え、節水はまだまだ続くと思います。引き続き皆様のご協力をお願いしたいと思います。 そして、もう1つはイラン情勢でございます。燃料ガソリンを初めとした燃料高騰については、皆様方の死活問題にもなろうかと思います。トランプ大統領が心配となっております。 それでは、本日の会議は令和7年度事業計画、収支予算やデマンド運行、公共ライドシェアなど重要案件の協議が続きます。慎重かつ建設的な審議をよろしくお願いしたいと思います。
	［２　報告事項］
	（１）豊鉄バス「伊良湖菜の花ガーデン」バス停での乗降者数について ※縄稚委員（豊鉄バス(株)）より説明【資料1】

	※意見等なし
	（２）ぐるりんミニバス中山線のデマンド運行実証実験の実績について ※事務局より説明【資料2】
松尾副会長（豊橋技科大）	確認ですが、基本的に結果としては、定時定路線の平日については9月よりも伸びているということだった気がしましたが、それでよろしいでしょうか。つまりデマンドにした、曜日（日）(月)(火)の主に(月)(火)だと思うんですが、(月)(火)の人が一定程度定時定路線の(水)(木)(金)を利用した結果として、定時定路線の平日については少し伸びているということが影響し、結果として全体の1便あたりの利用者数が押し上げて、定時定路線自体は1便あたり1.6人と少し増えているということでよろしいですか。
事務局	はい。ご認識の通りで、そのような状況となっております。 分科会のときは、2月1月が入っていなかったと思います。その時は17.5で結構差がありましたが、デマンドから定時定路線へ移動があったかと思うのですが、この1月2月を含めたときに1.6ということで、あまり変わらなくなったというところが、今回新しく出た数字となっています。
松尾副会長（豊橋技科大）	ありがとうございます。デマンドの方ももちろん定時定路線に比べると少しずつ月別の利用者数は少ないですが、右下のデマンド新設バス停における乗車人数というのが一定程度いるので、事務局さんがどう結果を解釈しているかにもよりますが、私の解釈としては、デマンドは予約がいるので一定程度利用が減るというのと、もちろん定時定路線に移った分というのもありますが、その一方で、新設バス停、つまり今までの定時定路線では利用できなかった方が利用できるようにもなっているということで、今この結果を見ると、うまく役割分担ができているのかなというふうに思えますが、事務局としてもそういった解釈でしょうか。
事務局	はい。そのように認識しておりまして、ただ一方で空白地に設置したバス停の中で、（実績が）ゼロというところもございますので、その地区については重点的に再周知を進めていきたいと考えております。
松尾副会長（豊橋技科大）	ありがとうございます。それからもう1点、先ほどの32人小学生が利用したというのは、特殊ではあるもののこういった利用ができるようになったというのは、おそらく定時定路線ではできなかったことだと思います。2往復しているので、それができるようになったというのは、新たな価値というのも見えたのかなと感じました。
	（３）分科会について ※事務局より説明【資料3】 ※意見等なし
	［３　協議事項］
	（１）令和8年度事業計画収支予算案について
事務局	※事務局より説明【資料4】 ※縄稚委員（豊鉄バス（株））より補足説明。
事務局	（採用された人数の）実績として、例年9人ぐらいから15人ぐらいの成果があったと思いますが、数字的には（どうでしょうか）
縄稚委員（豊鉄バス(株)）	そうですね、今15名ほど採用ができております。目標は20名ほど採用する予定です。なかなかそこまで届いておらず、現在3名の運転手を育成中でございます。来年4月以降には、3名の者もひとり立ちできるかなと思っておりますし、来年度も同じように20名の運転手確保を目標に採用していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
事務局	説明は以上になります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。
松尾副会長（豊橋技科大）	収入の部の補助金のところが前年度に比べて170万円ぐらい減少ということですが、内訳が2つありますがどちらが減少したのか両方なのかというところで、おそらくフィーダーなのかなと思ったんですけど、いかがでしょうか。

事務局	はい。おっしゃる通りフィーダー補助の今年度の実績に基づきまして減少させております。昨年度の予算は800万ほど見込んでいたんですけれども、今年度が603万7000円だったということですので、それに合わせて来年度の予算計上とさせていただいております。
松尾副会長（豊橋技科大）	800万ぐらいの予算だったのが600万ぐらいになったというところは、国の補助率が変わったということですか。
事務局	はい。おっしゃる通りで、人口密集地帯の人口に単価をかけ合わせというものの単価の減少がございまして、要綱の変更に伴って、本市に入るフィーダー補助の国庫補助金も減少しているという状況です。
松尾副会長（豊橋技科大）	わかりました。もし良ければ、その辺りを理由等があればご説明いただけるとありがたいなと思います。
原田委員（愛知運輸支局）	事務局から説明があった通り、補助率に変更があったのでその分減額になったというものです。毎年予算の範囲内なのですが大体当初予算があってそのあと補正予算がついたときに少し上乗せで、毎年若干修正しておりますが、今年の補正予算が念には至らなかったということで理解いただければと思います。
松尾副会長（豊橋技科大）	わかりました。先ほど路線バスの補助金の中でご説明があったと思いますが、やはり燃料費が高騰していますし、それから運転士確保というところでも、基本的には増えていって欲しいぐらいのものかなとは思っておりますので、一応この場でそういう姿勢が国として欲しいなということは発言させていただきます。
河邉議長（都市建設部長）	本件について原案通り承認される方は挙手をお願いいたします。 **（賛成多数で承認）**
	（２）ぐるりんミニバス中山線のデマンド運行区域拡大について
事務局	※事務局より説明【資料5-1、5-2-1、5-2-2、5-3、5-4】
松尾副会長（豊橋技科大）	今回、デマンドのバス停の新たな設置というところで、一応路線バスの沿線でもあるので、この辺の設置自体私も基本的には運動公園を利用する時間というのは結構ばらつくので路線バスでは難しいのかなというところもあるので、いいのではないかなと思っておりますが、実際に設置した後の利用をぜひ見ていただいて、例えば結果的に実は路線から路線上でしかも既存のバスを使えば全部行けた時間ばかり乗っているとかそういうことがあると、これをやった結果というのがどうだったのかなという評価にもなるかと思いますので、今後の改善に向けてその知見を使えると思いますので、ぜひ追加した後の利用状況を追っていただくといいのかなと思います。
河邉議長（都市建設部長）	本件について原案通りご承認される方は挙手をお願いいたします。 **（全会一致で承認）**
	（３）公共ライドシェアの実証実験について
事務局	※事務局より説明【資料6-1、6-2、6-3】
原田委員（愛知運輸支局）	1点確認させてください。資料6－1で豊鉄タクシーさんが15時半まで1台待機しているということですが、実際この伊良湖岬の方から予約があったらどれぐらい断っている状況か、もし行ける場合でもどれぐらい時間がかかっているのかというのを分かる範囲で教えていただければと思います。
岩原委員（豊鉄タクシー（株））	予約があった場合にはそこまで断っていないと思っております。配車時間については10分から15分ぐらいかかります。
宮脇委員（伊勢湾フェリー（株））	車両は専用の車両ということになろうかと思いますが、乗車定員は何名ほどの車を予定されていますか。

事務局	7人程度のいわゆるファミリーカーの見積もりを今取られている状況です。
宮脇委員（伊勢湾フェリー（株））	わかりました。
森本委員（愛知県交通対策課）	この事業については、昨年度から分科会で議論していただきまして、あと今年度県の事業で4回のワークショップをやりながら皆さんと一緒に考えてくることができたと思っています。いつも支局さんや県からも色々指摘をさせていただいてたんですが、すごく色々考えていただいて、だんだんまとまってきて、いい形になってきたと思っています。ただこの公共交通会議での承諾が必要ということで、すごく重要なところなので、また次回の会議でも取り上げていただくということで2回に分けていただいてすごくよかったかなと思います。 ご質問としては、まず確認なんですが、デマンドの中山線のエリアは認めないということですがこれはデマンドではない曜日についてもそういった形になるのかということと、あと距離制ということで、この距離はどのようにして計測をされるのかという2点教えていただけますでしょうか。
事務局	まずデマンド運行以外の日もこの区域内での移動を認めないのかというご質問につきましては曜日関係なく、その中での移動は認めない予定でおります。もう1点の距離の計算は、車両についているトリップメーターを活用して、0にしておいてから動いたところまでの距離を計算に使用するという予定です。
森本委員（愛知県交通対策課）	ありがとうございます。 次回の会議に向けては、今回少しバタバタだったと思うのですが、資料を事前に送付いただけるとありがたいなと思いました。引き続きよろしくお願いします。
河邉議長（都市建設部長）	本件について原案通り承認される方は挙手をお願いいたします。 **（全会一致で承認）**
	（４）ぐるりんミニバス中山線のアンケートについて ※事務局より説明【資料7】
松尾副会長（豊橋技科大）	もし可能であれば、今回の実証を始めた10月の前（2025年9月）に中山線を利用していたかというのを聞いていただくと、今この利用している人、回答していただいた人が以前も利用していて、デマンドを利用しているという人と、以前も定時定路線で今も定時定路線というところが分かると思いますし、かつ、その利用していたのかしていなかったかによってもデマンドの便利さ等の評価がもしかしたら違うのかなというのもありますので、もしアンケートに余裕があればそこを入れていただくといいのかなと思いました。 それから2点気づいたところで申しますと、問5の2時間前までの予約についての質問で、当日の午後は利用の2時間前までというのが当日の午後の利用に対してということですよね。これ当日の午後に入ってから2時間前ではなくて、例えば13時に利用したい場合11時に予約できるということですよね。この辺りが特に知らなかった方については理解が変わってしまうと思うので、少し工夫いただくといいのかなと思いました。
事務局	松尾委員に1点お伺いしたいことがあるんですが、問7ですが、中山線を今後どのように運行してもらいたいですかというこの率直な質問を最後に今の時点でしてしまっていいのかと思っています。聞いてしまって、このまま曜日を分けたまま実施をすることになったときに何を言われたりするのかなと思いながら、こういうことをはっきり聞いた方がいいのか、今は伏せた方がいいのか他の問6までである程度読み取れるものだと思いますが、ご意見いただければと思います。
松尾副会長（豊橋技科大）	聞いてもいいのではないかと思います。例えばほとんどの人が問2で、全ての曜日でデマンド運行が良いというふうに回答することは多分ないと思います。今デマンドがいいと思っている人は全てデマンドがいいという方に回答するけど、定時定路線を利用している人もいるわけなので、その人はおそらく定時定路線がいいと答えるので結局分かれると思います。仮に偏ったとしたら、それはそういうことなんだと思います。非常に重要な実験だと思いますので、多分偏らないと思います。
事務局	ありがとうございます。
河邉議長（都市建設部長）	今回のこのアンケートは、今までは定時定路線だったので職員が乗り込んで聞き取りでやっていたのが多かったと思うのですが、今回はもう紙を渡して書いてもらう形ですか。

事務局	デマンド運行については、乗車時間が非常に短いものですから、豊鉄タクシーさんにご協力いただいて、運転士さんにアンケートを渡していただいてというのを予定しておりますが、アンケートの回収が難しい等がありましたら、方法については検討していきたいと考えております。
河邉議長（都市建設部長）	もしそうであるなら高齢者の方も多く、この文字サイズは読めないと思うので、もう少しアンケート用紙自体を答えやすいように工夫をしてもらえるといいかなと思います。
花井委員（田原市地域コミュニティ連合会長）	資料2に自己最寄の新設バス停3件の相談ありというのが一番下の方にあるんですが、このアンケートでもバス停を新たに設置して欲しい場所がありますかというときで、もし希望があればここに書いてもらうということですね。
事務局	はい。そのような予定にしております。
花井委員（田原市地域コミュニティ連合会長）	以前、泉地区でも八王子線のバスのことでアンケートやりましたが、結構集まりが悪いし、泉の場合だと隣の自家用車を頼んじゃうとかそういうようなことがあって、なかなかうまくいかなかったこともありますが、今中山線のことを見るとそれなりに要望もあるので思いも違うなということを感じますので、例えば相談があるというのは新設して欲しいという相談ではないかなと思います。要望が出てくるとできるできないを要望した方に伝えていかないと何だかんだなんていうこともありそうですが、そういう構えとしてはどうお考えかお尋ねしたいです。
事務局	このバス停の設置につきましては、当然自治会の方とも調整していきますが、基本的には、例えば買い物で重い荷物を持ってバス停からご自宅まで歩くのが大変な高齢者の方とかが、なるべくご自宅の目の前だとかに設置したいというようなご希望も聞いていくということも含めて想定をしておりますので、その個人の方を中心にバス停の位置を考えていきたいと思っておりますので、個人の方にも当然のことながら、報告やその方を含めた調整をしていくということを予定しています。
花井委員（田原市地域コミュニティ連合会長）	書く立場からすると、せっかく書いたことが採用されるといいなという気持ちで書くので、できるだけ尊重していただいて、その中で対処してもらえばいいかなと思います。
河邉議長（都市建設部長）	本件につきましては、ただいま様々なご意見いただいておりますので詳細につきまして会長に一任をするという形でご承認をいただければと思いますがよろしいでしょうか。 それでは承認をされる方は挙手をお願いいたします。 **（会長一任で承認）**
	［４　その他］
	（１）意見・情報交換
事務局（高齢福祉課）	田原市における高齢者及び障害者の外出支援事業につきまして、日頃より各交通事業者の皆様にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。本日は、助成券の取り扱いに関しまして、事務局より1点ご連絡がございます。現在本市では、公共交通機関の利用助成券を高齢者、障害者、それから運転免許の有無ごとに区分して、さらに、年度ごとに利用期限を設けていることから、毎年度、複数の色の助成金を発行しております。しかしながら、現場において、前年度と類似した色の判別が困難であるとのご意見をいただいており、事業者の皆様にご負担をおかけしておりますことにつきまして、まずもってお詫び申し上げます。 本来であれば、より識別しやすい運用とすべきところではございますが、制度上、年度ごとの区分管理が必要であることから、現時点では色分けによる対応を継続せざるを得ない状況でございます。つきましては、大変恐縮ではございますが、引き続き有効期限や券面表示をご確認いただきながら、ご対応いただきますようお願い申し上げます。なお、本件につきましては今後色彩の見直しや表示方法の工夫など、現場での識別性の向上に向けた改善について検討して参りますので、お気づきの点等がございましたら、ぜひご意見をお寄せいただければ幸いです。今後とも、本事業の円滑な実施にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。
事務局	それでは資料8をご覧ください。こちらにつきましては現在製作中で、来年の4月に納車を予定しているバス車両のデザインとなっております。市内の観光資源、伊良湖岬灯台、太平洋ロングビーチ、菜の花ガーデン、こういった観光資源をPRできるようなラッピングとして運行していく予定でおります。また4月以降に運行を開始する予定でおりますので、また実物をご覧いただけたらなと思っております。

鈴木会長（副市長）	それではタクシーの状況をお聞きしたいのですが、実は、三河田原駅でタクシーが夜間なかなかつかまらないという声を聞いておりますが、来年度7月から田原市柳町で屋台村という実証実験を実施予定で、市街地の活性化を図っていきたいと思っています。また、深夜の渥美病院等の通院後の帰宅手段もないといった声も以前から聞いております。渥美交通さん、豊鉄タクシーさんにお伺いしたいのですが、現状夜間帯の三河田原駅でのタクシーの配置は何時から何台ぐらいで対応してるかというのが分かれば教えていただきたいです。
岩原委員（豊鉄タクシー（株））	豊鉄タクシーですが、今現在が24時までが1台と24時30分までが2台で回しています。
鈴木委員（渥美交通（株））	渥美交通は、現在平日は22時30分まで3台、金曜日が23時30分まで3台、土曜日が24時30分までが2台から3台となっております。
鈴木会長（副市長）	また新年度になったら、屋台村というものがあるんですけれども、今後駅での待機時間の延長や増車などの予定がありましたらお伺いしたいです。
鈴木委員（渥美交通（株））	渥美交通は、増車する予定はしておりません。夜間は、トヨタ自動車の従業員の動きがすごく活発なので、かなり今待ち時間等も出ております。電話での受付と駅での受付があり、駅の方の状況がなかなか掴めない状況です。何人ぐらい並んでいるかいうのは運転手の無線からの連絡しかなく、駅の状況が事務所では全く把握できませんので、ぜひカメラの設置をお願いできれば、また違う配車ができますので、その点をお願いしたいところです。
岩原委員（豊鉄タクシー（株））	24時～24時30分というのは金曜日土曜日にほぼ集中して、かなり忙しくて、何台か待っていただいてるのが現状でございます。ただ平日になりますと、3台はいらないかなというぐらいの数になってしまいます。日曜日も多いときと少ないときはあってなかなか難しい状況です。それから人員的にはこれ以上いっぱいいっぱいというところもあり、労働時間等の関係もありまして今24時30分が最大ということにさせていただいております。
事務局	カメラの設置につきましては、今初めて要望いただきましたので今後調整をしていければと思います。
鈴木会長（副市長）	ありがとうございました。田原地域の夜間タクシーの不足の解消は、重要な施策となっておりますので、引き続き、解消に向けてご協力をお願いするとともに、屋台村もオープンしますので、年度途中でも柔軟な対応をよろしくお願いしたいと思います。
事務局	毎年、田原市民まつりにおきまして、警察さん、バス会社さん、タクシー会社さんと公共交通会議ということで、「はたらくくるま」という企画にご協力いただいてたところですが、来年度、アジア大会の開催の関係で市民まつりの実施が難しいということで、毎年車両の手配をいただいてるところですが、来年度は実施しないということになりそうですので、正式なところにつきましてはまた後日ご連絡させていただく可能性ありますが、まずはご一報ということでご予定いただければと思いますのでお願いいたします。
	（２）次回開催予定
事務局	次回は5月、6月頃開催予定です。 運賃協議会の開催でございますが、引き続きこの会場で開催いたしますので、関係の方はご出席をお願いいたします。 それでは皆さん、長時間にわたり、慎重審議いただき誠にありがとうございました。 これをもちまして会議を閉会させていただきます。